

KOKORO

意style

第102期第2四半期 報告書
2012年4月1日～2012年9月30日

日本タンクステン
の技術が街の灯りを
支えています。

九州の夜景【vol.14】 光のページェントinくまもと(熊本県)

毎年11月中旬から1月中旬まで、上通り、下通り、シャワー通りなど、熊本市街の通り一帯がロマンチックなイルミネーションに包まれます。熊本の冬を彩る美しく抒情あふれる光。ここにも日本タンクステンの技術が活かされています。

株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第102期第2四半期(平成24年4月1日から平成24年9月30日)報告書をお届けいたします。

これからも当社の経営理念である“創意”“誠意”“熱意”の3つの意(こころ)とともに皆様方のご期待にお応えできますよう、真摯に努力してまいります所存でございます。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

馬場 信哉



経営理念

私たちの3つの意



当社は、粉末冶金技術をベースに独自の製品開発力と加工技術を駆使し、次世代マテリアルのパイオニアとして事業の発展に取り組んでまいります。

この私たちの3つの意(こころ)をもとに、株主、顧客、地域社会と相互に協調し、自然環境との調和をはかりつつ、一層の発展をめざします。

業績の概要

■ 経済環境

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部持ち直しの動きが見られましたが、欧州債務危機、長期化する円高、新興国の景気減速等により、経済環境は厳しい状況が続く中で推移しました。

■ 連結売上高

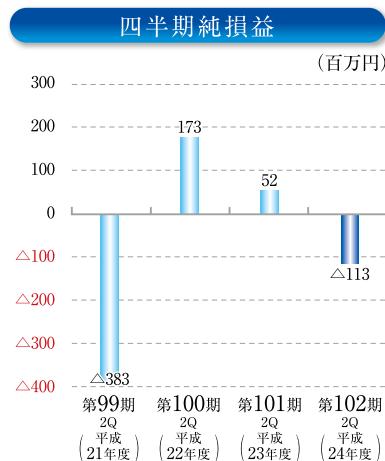
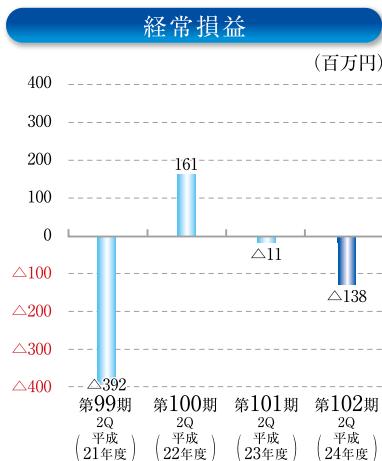
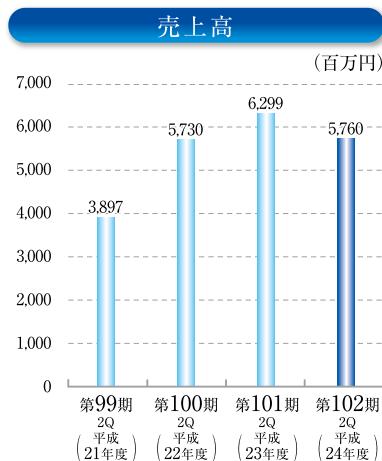
当社グループの売上高は、グローバル拡販、新市場開拓及び新商品の市場投入による拡大効果や、復興関連及び自動車関連による増加要因はあったものの、欧州債務危機に端を発した円高や半導体不況及び中国の景気減速の影響が大きく、前年同四半期比8.5%減の57億6千万円となりました。

■ 主要製品売上高の状況

粉末冶金事業では、グローバル拡販により主力製品であるNTダイカッターの海外向け売上高が増加したほか、抵抗溶接電極が自動車関連向けの増加により好調に推移しました。また、タングステン線・棒製品は、OA機器用途や医療用等、新用途による受注増もあり堅調に推移しました。

しかしながら、ハードディスクドライブ用磁気ヘッド基板は円高の影響や世界的な需要低迷により減少し、プレーカー用の接点製品は震災需要の一服により減少しました。また、セラミック製品は半導体市場の不況もあり減少しました。

その他では、産業用機器及び装置が国内においては半導体不況による設備投資の縮小により減少したものの、中国では自動化・省力化設備の受注増により売上が増加し、堅調に推移しました。



■ 損益の状況

損益面では、不良率の改善、生産性の向上等の原価低減及び経費削減等により利益率の改善を図っておりますが、中国事業において市況の低迷や製品の立ち上げ遅れなどにより業績が悪化し、営業損失は前年同四半期の6千9百万円から1億4千9百万円となりました。また、経常損失は為替差損等により、前年同四半期1千1百万円から1億3千8百万円となり、四半期純損益は前年同四半期5千2百万円の四半期純利益から1億1千3百万円の四半期純損失となりました。



抵抗溶接電極

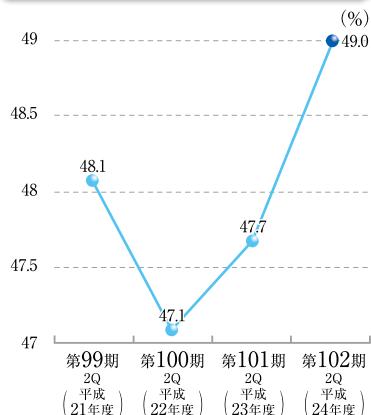


NTダイカッター

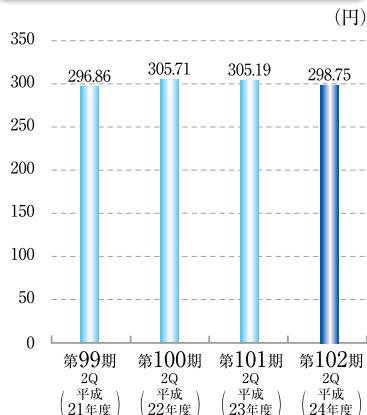


HDD用磁気ヘッド基板

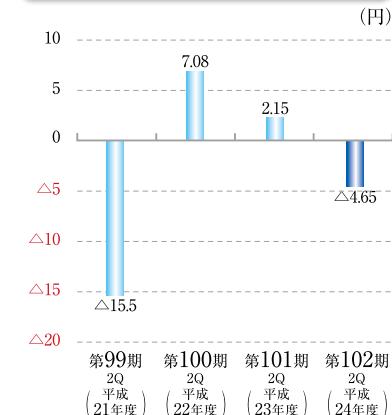
自己資本比率



1株当たり純資産額



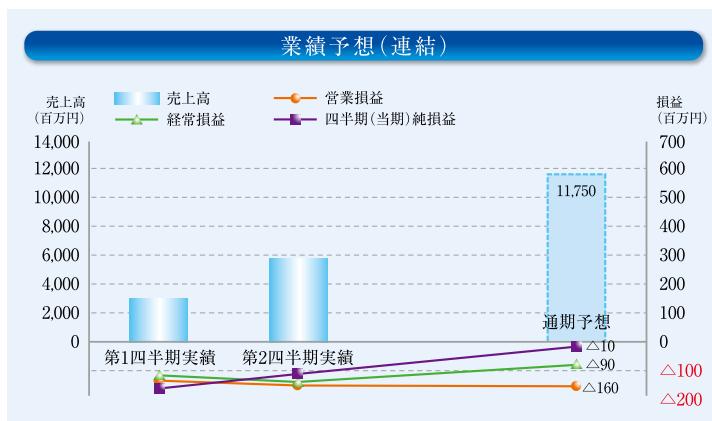
1株当たり四半期純利益金額



通期の見通し

通期の見通しにつきましては、欧州債務危機や中国経済の成長鈍化さらには日中の関係悪化の長期化懸念もあり、自動車産業をはじめ、輸出の動きが弱く推移するなど景気の減速感が強まり、事業環境はさらに厳しい状況が続くものと思われま

す。このような中、当社グループは、注力商品の更なる売上の拡大、中国関係会社の生産性向上や経費節減の強化に努め、業績の改善を図ってまいります。



配当方針及び中間配当金

当社は株主の皆様への継続かつ安定的な利益配当を基本方針とし、当期の業績、今後の事業展開に必要な内部留保の充実等を総合的に勘案し配当を行っております。

配当の基準として、単体の当期純利益の30%相当を目安に利益配分を行っており、また、資本効率の向上を目的として、適宜自己株式を取得し、配当とあわせて株主の皆様への利益還元を努めてまいります。

当期の中間配当金につきましては、業績の状況等を勘案し、1株につき2円とさせていただきます。

今後とも株主の皆様への利益還元を最重要課題のひとつとして、業績の回復に尽力し、皆様のご期待に沿うべく努力してまいります。

タングステン 製造レポート

[超合金製品編 3]

当社基山工場を
訪ねて



超硬リング(左)と
超硬スリーブ(右)

特集

タングステンのすべて

社会を支える超合金製品

日本タングステンが誇る『超合金』は耐食性・耐磨耗性に優れた素材で、高精度な製品に加工されることで、社会のさまざまな分野で活用されています。当社の基山工場で生まれる『超硬リング』もそのひとつ。普段は人の目に触れませんが、産業や社会基盤を支える重要な役割を担っています。

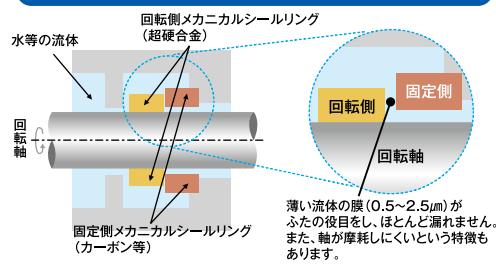


基山工場 超硬部品部
超硬リンググループリーダー
牧 美智治

日本の産業に不可欠な超硬リング

発電所や化学プラントなど社会の産業基盤を支える多くの施設では、ポンプや攪拌機などさまざまな回転機器が多用されています。ポンプ内部を満たしている各種液体が漏れ出さないようにしながら、モーターや軸を効率良く回転させるために、現在はメカニカルシールという技術が用いられています。内部で回転する軸と外側のポンプ管などとの間にミクロン単位の隙間をつくることで、液体が漏れ出さず、機器の摩耗も防ぐことができる技術です。ただし、この継ぎ目部分に使われる部品には非常に高い精度が要求され、また耐食性や耐磨耗性に優れた素材が求められます。ここで活躍しているのが当社の超硬リング製品です。

メカニカルシールの原理



超硬リング・スリーブの製造工程

原料粉末

粉末混合

プレス

予備焼結

整形

焼結

当社の超硬リング製品の主力素材『バインダレス超硬合金』

耐久性の高いメカニカルシール用のリング製品は以前から様々な場面で求められていました。例えば海水の汲み上げポンプ。常に海水にさらされるため、耐食性に優れた素材で、できる限りメンテナンスの必要がない製品が求められます。当社の超硬リングの歴史は古く、1950年代から超硬合金の開発に取り組み、約30年前から製品化されています。現在、当社で製造されている超硬リング製品の約7割には『バインダレス超硬合金』が使用されています。従来の金属相を複炭化物相に置き換えることで、コバルトやニッケルなどの金属成分を含まず、非常に硬く耐久性のある素材を実現しました。



鏡面加工後のリング(左)と加工前のリング(右)

素材から製品加工まで一貫した体制

もうひとつ重要なことが製品の精度です。素材から製品製造まで一貫した生産ができる当社では、用途に合わせた素材を粉末から調合して生み出すことが可能です。加えて、素材を知りつくしている製造現場では、数ミクロン以下の精度で加工を行っています。機械での工程はもちろん、人間の感覚が必要とされる微細な作業は手作業で行います。材料開発と加工技術の2つが融合することで、信頼性の高い製品が生まれるのです。当社では、数百個・数千個単位の量産品はもちろん、数個単位の特殊用途品のご注文も多くいただいています。



機械で研磨した後、手作業で仕上げます。

将来はクリーンエネルギーでの利用も

発電施設内部のポンプなど、一度稼働を始めると簡単に取り換えができない場所に多用されてきた当社の超硬リング製品。今後はクリーンエネルギー分野への広がりが期待できます。これまでの経験や実績を活かして、風力や波力などの発電設備でも信頼性の高い製品を開発したいと考えています。また数年前から、超硬リング製品向けの新素材『カーボン分散型バインダレス超硬合金』をご提供しています。素材断面に微細な凹凸を生じさせることで自己潤滑作用を持たせ、より安定的な稼働が期待できます。

今後もお客様のニーズに合わせて、新しい材料の開発、加工技術の工夫に取り組んでまいります。

HIP処理

荒研磨加工

仕上げ研磨加工

鏡面仕上げ加工

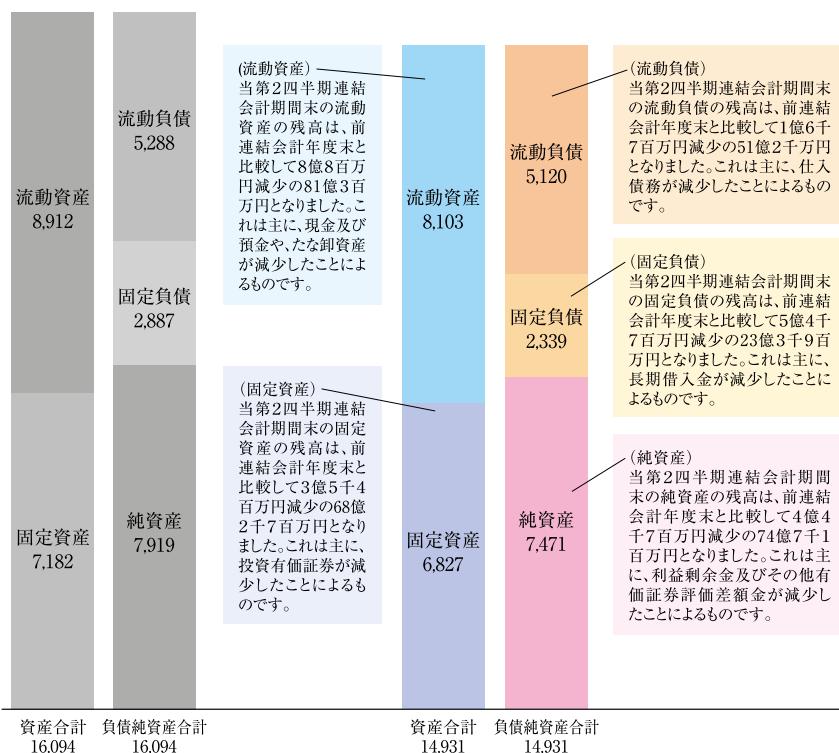
検査

出荷

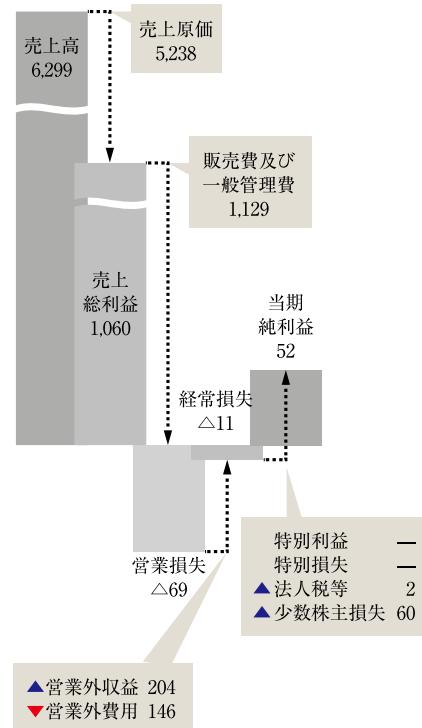
計算書類

(記載金額は百万円未満を切捨て表示)

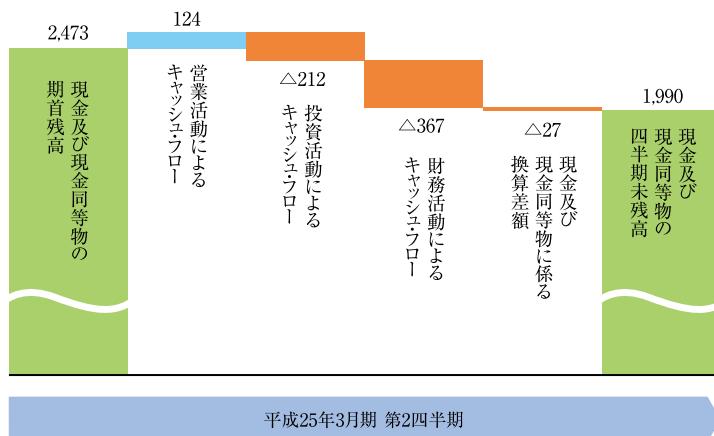
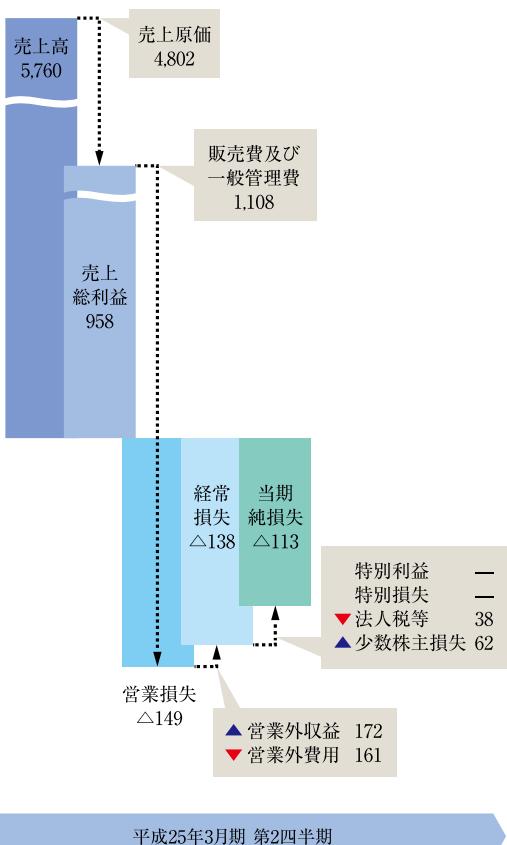
■ 連結貸借対照表



■ 連結損益計算書



連結キャッシュフロー計算書



営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により獲得した資金は1億2千4百万円となりました。主に、仕入債務が減少したことにより、前年同四半期と比較して2億1千4百万円の収入減となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により支出した資金は2億1千2百万円となりました。主に、有形固定資産の取得による支出が増加したことにより、前年同四半期と比較して3百万円の支出増となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により支出した資金は3億6千7百万円となりました。主に、長期借入金の返済による支出が減少したことにより、前年同四半期と比較して1億2千7百万円の支出減となりました。

Corporate Data

会社の概要

平成24年9月30日現在

設立	1931年(昭和6年)4月1日
資本金	25億950万円
従業員数	917名(連結)
本社	福岡市博多区美野島一丁目2番8号
事業所	支店:東京・大阪・名古屋・九州 工場:基山、飯塚、宇美



役員

平成24年9月30日現在

取締役会長	吉田 省三
取締役社長	馬場 信哉 (代表取締役)
常務取締役	坂口 茂也
常務取締役	徳本 啓
取締役	高嶋 好夫
取締役	大島 正信
取締役	後藤 信志
社外取締役	山元 春義 九州電力株式会社代表取締役副社長
常勤監査役	田中 和昭
社外監査役	小島 庸匡 小島公認会計士事務所代表
社外監査役	斉藤 芳朗 徳永・松崎・斉藤法律事務所代表弁護士
社外監査役	渋田 民夫

関係会社の概要

平成24年9月30日現在

中国

- 恩悌(上海)商貿有限公司
- 上海電科電工材料有限公司
- 上海三義精密模具有限公司
- 四平恩悌タングステン高新技术材料有限公司
- 恩悌(香港)有限公司
- ▲ 九江日本タングステン有限公司

タイ

- ▲ SVニッタン株式会社

■ 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

アメリカ

- Nippon Tungsten USA, INC.

国内

- 株式会社昭和電気接点工業所
- 株式会社福岡機器製作所
- 株式会社エヌ・ティーサービス

株式の状況

平成24年9月30日現在

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	25,777,600株
単元株式数	1,000株
株主数	4,200名

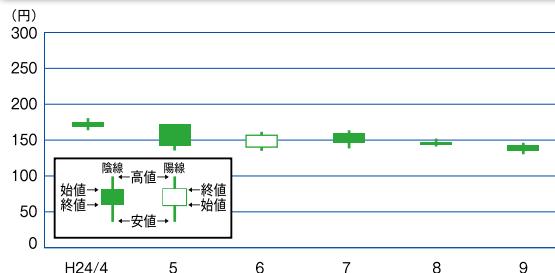
大株主の状況

(千株、%)

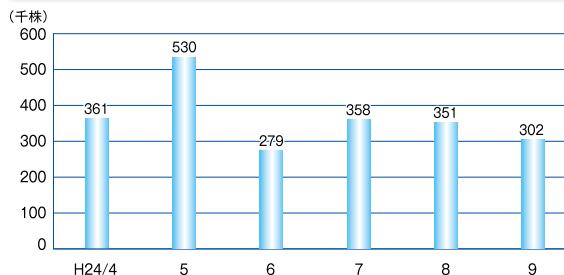
株主名	持株数	持株比率
九州電力株式会社	1,666	6.46
株式会社福岡銀行	1,200	4.65
日本タングステン従業員持株会	860	3.33
みずほ信託銀行株式会社	643	2.49
明治安田生命保険相互会社	601	2.33
日本タングステン取引先持株会	583	2.26
株式会社西日本シティ銀行	509	1.97
株式会社佐賀銀行	500	1.93
日立金属株式会社	500	1.93
日本生命保険相互会社	410	1.59

※持株数は、千株未満を切捨てて表示しております。
 ※上記のほか、自己株式を1,283千株所有しております。

株価の推移

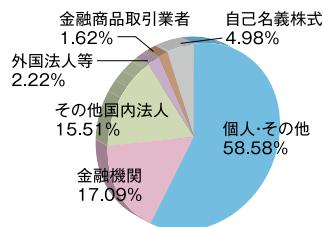


出来高の推移

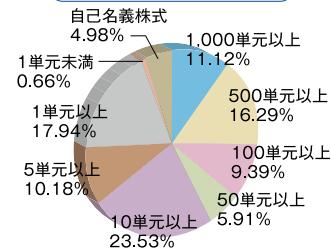


株式の分布状況

所有者別



所有株式数別



株主メモ

決算期	3月31日	
基準日	定時株主総会、期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
	そのほか必要あるときはあらかじめ公告して定めます。	
定時株主総会	6月	
上場証券取引所	東京(2部)、福岡	
証券コード	6998	
公告方法	当社のホームページ(http://www.nittan.co.jp/)に掲載します。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。	
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	

お知らせ

ご注意

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。詳細な手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので上記お問い合わせ先にお問い合わせください。

 **日本タンゲステン株式会社**

本社

〒812-8538 福岡市博多区美野島一丁目2番8号
TEL (092) 415-5500(代表) FAX (092) 415-5511
ホームページアドレス <http://www.nittan.co.jp/>

お問い合わせ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部	
電話 お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)	
各種手続 お取扱店 (住所変更、株主 配当金受取り 方法の変更等)	みずほインベスターズ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行 内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店	
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほインベスターズ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。みずほインベスターズ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

※みずほインベスターズ証券は、2013(平成25)年1月4日以降はみずほ証券となります。

ホームページのご案内

<http://www.nittan.co.jp/>

株式関連情報他を
HPにて公開しております。
是非、ご覧ください。



意 style
KOKORO
2012年12月発行

r100 古紙配合率100%
再生紙を利用しています

VEGETABLE OIL INK
この報告書は、環境にやさしい
植物油インキと再生紙を利用しています。